

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 T4作戦について説明した次の文章の空欄に、本文中から適切な言葉を抜き出して入れましょう。

T4作戦とは第2次世界大戦中に  が安楽死の名のもとに  を大量殺害した政策のこと。

2 T4作戦の「きざし」は何であったと筆者は考えていますか。本文中から抜き出して答えましょう。

3 きざしに気づいて対応することが、悲惨な状況を起こさないために重要だと筆者は言っています。きざしに気づく力をつけるために、大切なこと2つを本文中から読み取ってそれぞれ10字以上で書きましょう。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

「T4作戦」の遺構がドイツ中西部のハダマーに存在する。「T4作戦」は、「価値なき生命の抹殺を容認する作戦」の隠語であり、ナチスの代表的な蛮行の一つである。犠牲となった障害者の数は、関連殺害を含めると20万人とも30万人とも言われている。「T4作戦」関連で保存されているのは、この遺構のみで、今は平和啓発の記念館となっている。初めて訪れたのは2015年だった。地下のガス室側壁を触った感触は生涯失せることはなからう。この「T4作戦」については、その前後に目を配ることも忘れてはならない。先に強行されたのが障害者を標的とした断種政策（強制不妊政策）であり、後に控えていたのがあの600万人ものユダヤ人虐殺だった。つまり、断種政策、「T4作戦」、ユダヤ人虐殺は、連続的で段階的にとらえることができる。もし、断種政策の実施前の段階で気付いていれば、その後の展開は異なっていたかもしれない。

どんな事象にも、前ぶれやきざし

## 随想

### きざし



藤井 克徳

しがある。これらの段階での対応がその後の流れに大きく影響することは間違いない。問題は、きざしに気付く力をいかに持ち合わせるかである。気付く力そのものとなると容易でないが、気付く力の底辺拡大については努力できるように思う。筆者の半生は、この底辺拡大の積み重ねと言ってもいい。とくに大切と思われる2点をあげる。一つは、知ること、もう一つはわかることである。知ることとは、知識を分厚くすることであり、座学に加えて体験も大きな意味を持つ。わかることは、知ったことを深掘りすることであり、自身の血肉にすることである。知ることとわかることの峻別の中に大事な事柄が潜んでいるように思う。慌ただしさと喧騒が渦巻く社会にあって、きざしが感じにくくなっているのかもしれない。気付く力がますます問われているのでは。

(NPO法人日本障害者協議会代表)

## NIEワークシートのこたえ（2023年10月31日公開）

◆ワークシート「きざしに気づく力(国語 SDGs16)」  
2023.10.30付 夕刊 1面 解答

- 1 ナチス 障害者
- 2 (障害者を標的とした)断種政策(強制不妊政策)
- 3 (体験も交えて)知識を分厚くすること  
知ったことを深掘りすること  
(知ったことを自身の血肉にすること)  
(同意可)